

むつ市都市計画マスタープラン

第2回公開勉強会

テーマ2 将来像<上位計画、アンケート>

平成21年3月14日

# 《上位計画》

1. 青森県基本計画（平成20年12月） 青森県
2. 都市計画区域マスタープラン（平成16年5月） 青森県
3. むつ市長期総合計画（平成20年3月） むつ市
4. 新市まちづくり計画（平成16年10月） むつ・川内・大畑・脇野沢  
合併協議会

## <下北地域>

### 2030年における地域の目指す姿：

うみ

「豊饒の里海とフード(食・風土)、癒しの下北」

### 今後5年間の取組

- 下北の総力を集結した下北まるごと観光の推進
- 観光に寄与する地域産業の充実
- 地域の特長を生かした産業づくり
- 下北地域の一体感を形成する仕組みづくり

※現在見直し中

## <むつ都市計画>

### 都市づくりの基本理念：

**「海・山・緑を背景に豊かな生活・産業・文化が躍動する  
下北中核都市」**

- 広域的な交流が繰り広げられる交流都市
- 農林水産業、海洋研究等による活力あふれる豊かな産業都市
- 海・山・緑を活かしたスポーツ・観光都市
- 地域の人々が創造性豊かな生活を育む快適な生活都市

# ○都市計画区域マスタープラン（平成16年5月） 青森県

※現在見直し中



※現在見直し中

## ＜大畑都市計画＞

都市づくりの基本理念：

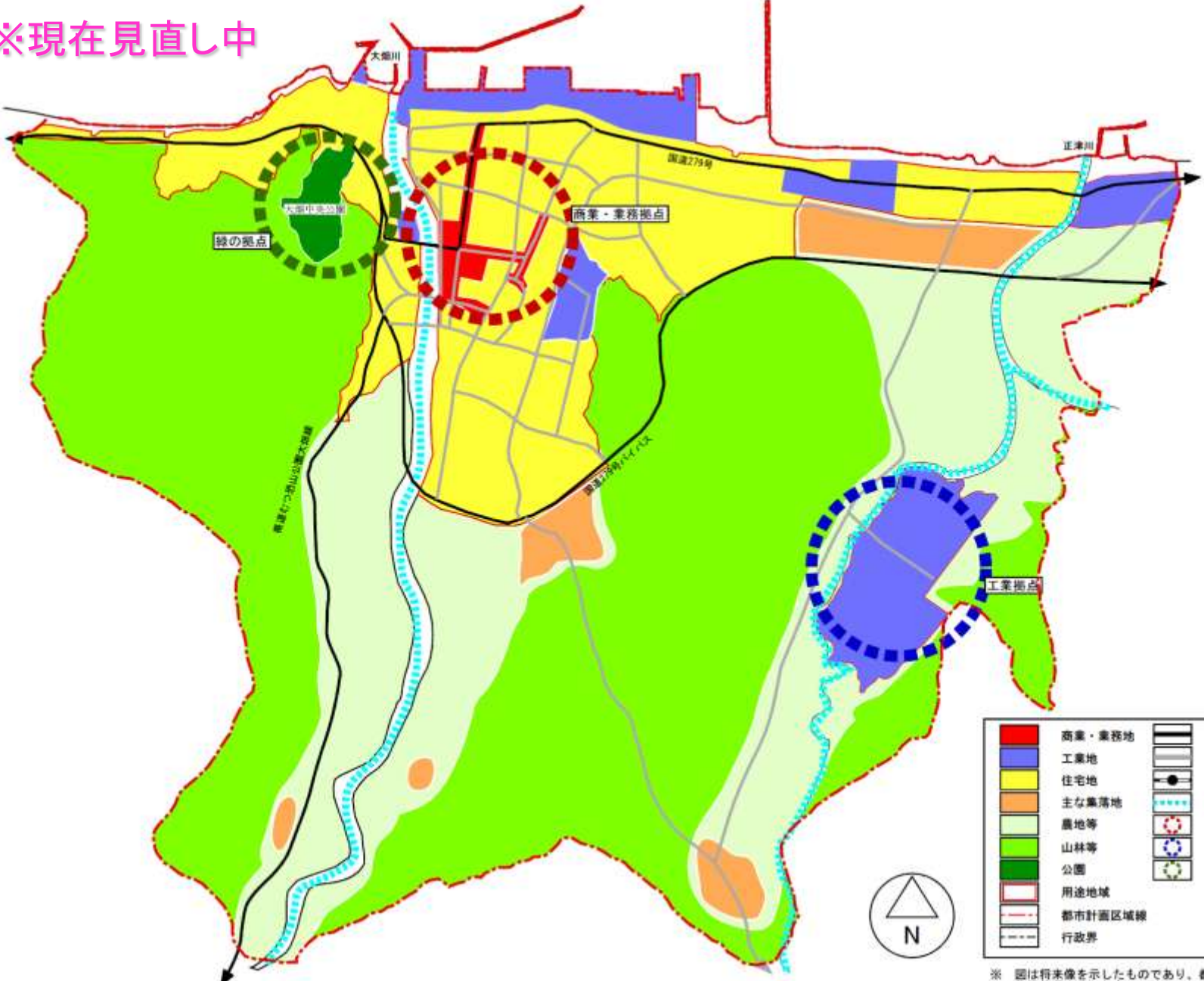
「人間が自然に胎棲する郷」

- 森と川と海のまち
- 生命力あふれるまち
- 心ふれあうやすらぎのまち



# ○都市計画区域マスタープラン（平成16年5月） 青森県

※現在見直し中



	商業・業務地		主要幹線道路
	工業地		幹線道路
	住宅地		鉄道・駅
	主な集落地		主な河川
	農地等		商業・業務拠点
	山林等		工業拠点
	公園		緑の拠点
	用途地域		
	都市計画区域線		
	行政界		



※ 図は将来像を示したものであり、都市施設等の整備状況を示したものではない。

# ○むつ市長期総合計画（平成20年3月） むつ市

## <人口>

・平成27年は60,843人、平成32年は58,478人を見込んでいます。

人口推計

(単位：人)

区 分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
年少人口 (～14歳)	12,166 (17.90%)	10,593 (15.81%)	9,408 (14.69%)	8,406 (13.38%)	7,282 (11.97%)	6,303 (10.78%)
生産年齢人口 (15歳～64歳)	45,058 (66.29%)	43,746 (65.27%)	40,373 (63.03%)	38,921 (61.97%)	36,052 (59.25%)	33,110 (56.62%)
老年人口 (65歳～)	10,745 (15.81%)	12,683 (18.92%)	14,271 (22.28%)	15,483 (24.65%)	17,509 (28.78%)	19,065 (32.60%)
人口総数	67,969	67,022	64,052	62,810	60,843	58,478

※ 括弧内は構成比

※ 平成17年までの数値は「国勢調査」、平成22年からの数値は「コーホート要因法\*」による推計値



## <主要課題>

- ・財政の再建
- ・医療機能の再編
- ・交通ネットワークの改善
- ・消防・防災体制の整備
- ・情報ネットワークの整備
- ・産業の活性化及び雇用の創出
- ・電源立地に係る振興策
- ・少子高齢化対策
- ・地域の総合力の向上
- ・地域の人づくり

**目標年次：平成19年度～28年度**

**将来像：**

**人と自然が輝く やすらぎと 活力の大地 陸奥の国**

**基本方針：**

- 1. 地域の個性を活かした特色のあるまちづくり**
- 2. 市民参加による一体的な新しいまちづくり**
- 3. 人が生き生きし安心して暮らせるまちづくり**

1. 地域の個性を生かした特色あるまちづくり

<観光の振興>

○広域周遊型観光の形成

- ・誘客のための周遊ルートの整備  
（むつ市を軸として、下北半島、北海道道南、津軽、南部の広域周遊）
- ・誘客のための情報発信
- ・誘客のための資源開発
- ・受入体制の整備

○第一次産業との連携

- ・第一次産業を活用した各種ツーリズムの実施
- ・観光関連産業における地産地消の促進
- ・地域ブランドの構築

## 1. 地域の個性を生かした特色あるまちづくり

### <特色ある地域産業の育成>

#### ○農林水産業の振興

- ・資源を活用した戦略的水産業の展開
- ・戦略的農業の展開
- ・素材活用型林業の展開
- ・高付加価値水産業の展開
- ・生産基盤施設の整備
- ・生産性の向上
- ・流通販路拡大戦略の展開
- ・農林水産加工品のブランド化

1. 地域の個性を生かした特色あるまちづくり

＜特色ある地域産業の育成＞

○商工業の振興

- ・中心市街地の魅力向上

（中心市街地活性化基本計画策定の検討。商店会・まちづくり団体が行う事業取組を支援）

- ・地域商業の活性化

（魅力ある店づくり、各種イベント開催等を支援）

- ・地場産業の振興

（地場産品の開発に取り組む企業、各種商工団体を支援）

○エネルギー関連産業の育成

- ・新エネルギーの産業化
- ・原子力関連サービス産業等の育成



1. 地域の個性を生かした特色あるまちづくり

<豊かな環境の創造>

○循環型環境社会の創造

- ・生活排水等の処理強化
- ・リサイクルシステムの構築
- ・バイオマスの推進
- ・地球温暖化防止対策の推進

○自然環境の保全

- ・森林の育成
- ・海岸環境の保全
- ・生態系の保全
- ・水辺環境の保全

1. 地域の個性を生かした特色あるまちづくり

＜豊かな環境の創造＞

○住環境の整備

- ・多自然住環境の整備
- ・豊かな農漁村整備
- ・居住の安定確保のための住宅整備

（公営住宅の計画的な整備、既存のストックの改善）

- ・下水道の整備

（各処理区の整備拡大を積極的に推進。排水設備等工事資金の貸付等の助成）

- ・都市公園の整備及び管理
- ・克雪・利雪対策の推進

1. 地域の個性を生かした特色あるまちづくり

＜豊かな環境の創造＞

○住環境の整備

- ・地域の特性に応じた土地利用の促進

（新市まちづくり計画との相互補完、適切な運用。調和のある一体的な圏域を形成していくための効果的・効率的な土地利用の推進）

- ・土地評価と土地利用計画の策定

（地理情報システム等の充実。国、県の計画を基本として、地域の実情に即した国土利用計画の策定）

- ・土地利用に関する監視システムの構築
- ・地籍調査事業の推進

2. 市民参加による一体的な新しいまちづくり

＜一体的な地域の形成＞

○道路基盤の整備

- ・幹線道路（市道）の整備
- ・幹線道路（国道、県道）の整備

（国道279号、338号をはじめ、主要地方道、県道の整備促進）

- ・生活道路の整備

（安全で快適な市民生活を確保するために計画的に整備）

○公共交通の確保

- ・生活バス路線の維持
- ・新たな形態の公共交通の導入に向けた検討促進

（コミュニティバス、多目的バス、デマンド交通等の導入の検討）

2. 市民参加による一体的な新しいまちづくり

＜一体的な地域の形成＞

○広域交通ネットワークの形成

- ・下北半島縦貫道路の整備促進

（人的交流や物流の活性化が期待できる地域高規格道路であり、早期完成を目指す）

- ・津軽海峡大橋、下北・津軽半島大橋の実現に向けた取組の推進
- ・港湾整備の推進
- ・JR大湊線の利便性の向上・安定運行の確保に向けた取組
- ・新幹線駅への長距離バス路線の整備充実
- ・海上交通航路の維持充実



3. 人が生き生きし安心して暮らせるまちづくり

＜安全で安心な環境の充実＞

○防災対策の実施

- ・地域防災計画の充実
- ・災害予防対策の推進
- ・治山・治水対策等、国土保全の推進
- ・防災体制の整備
- ・救援活動及び復旧対策の充実
- ・情報通信基盤の整備
- ・原子力施設等の防災対策の充実
- ・広域的な避難経路の確保

（多市町村への避難路の確保、広域的な避難体制の充実）

# ○新市まちづくり計画（平成16年10月） むつ・川内・大畑・脇野沢合併協議会

【新市将来像のゾーニングイメージ図】

### 森林環境ゾーン

一帯の香・森林浴観光リフレッシュ

整備方針	主要施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林浴など人と自然がふれあうための環境整備</li> <li>●温泉を核とした癒し、交流のための環境整備</li> <li>●豊かな自然環境を活かしたエコツアーの実施など、体験・学習の場としての整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生態系の保全</li> <li>●温泉、敷設道等の癒しのための環境整備</li> <li>●体験、学習機軸の整備</li> <li>●地域イベントの充実</li> </ul>

### 湾岸ゾーン

一帯の山健康リフレッシュ・農漁業体験

整備方針	主要施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>●陸奥湾の環境の保全を図るための生活環境や産業基盤等の整備</li> <li>●陸奥湾の水産資源の保全と産業基盤に係わる環境整備</li> <li>●農林水産業の育成と、これを活用したグリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進による新たな産業の育成</li> <li>●新市の玄関口としてのアクセスルートの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海上、陸上アクセスに係わる機能整備</li> <li>●新市の玄関口としての機能整備</li> <li>●山、海を含めたトータルな環境創造</li> <li>●農林水産業を活用したツーリズムの実現と産業育成</li> <li>●地域イベントの充実</li> </ul>

### 海洋海峡ゾーン

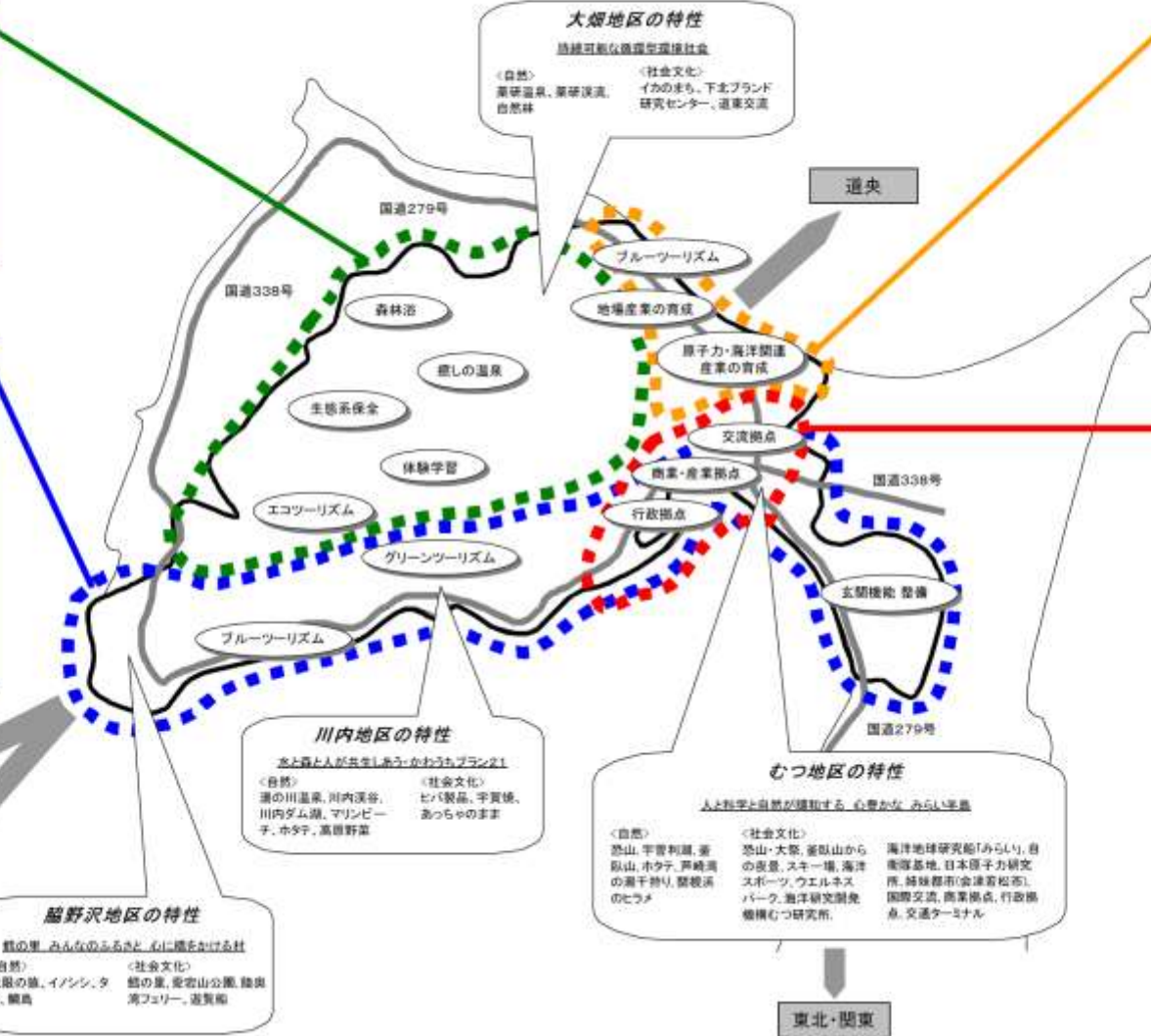
一帯の海洋文化・新産業

整備方針	主要施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道などの周辺地域との連携のための港湾や鉄路などの機能強化</li> <li>●水産資源の保全と水産業を活用したブルーツーリズムの推進などによる新たな産業の育成</li> <li>●既存産業の高産化や海洋科学、原子力に係わる新たな産業の創出</li> <li>●特色ある地域の文化を活かした海洋文化拠点の形成や観光推進などによる地域活力の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たなツーリズム等を通じた広域連携・交流の強化</li> <li>●地域資源を活用した地場産業の育成</li> <li>●むつ下北ブランドに係わる情報発信</li> <li>●原子力・海洋関連産業の育成</li> <li>●地域イベントの充実</li> </ul>

### 中央ゾーン

一帯の都市機能・にぎわい

整備方針	主要施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新市の中心部としての環境整備</li> <li>●これまでの産業集積を活かした新たな産業、雇用の創出</li> <li>●交通の結節点としてのターミナル機能の強化</li> <li>●行政機能の強化を図り、新市の広い圏域に対する高い水準の行政サービスを提供できる体制整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地の整備と活性化</li> <li>●新たな産業の創出と導入</li> <li>●交通ターミナルの整備と交通網の充実</li> <li>●複合的行政サービス拠点の形成</li> <li>●地域イベントの充実</li> </ul>



# 《調査の概要》

## ○目的

- 市民のまちづくりに関する意識を把握すること
- 市民の意見や要望をマスタープランの計画策定に反映させること

## ○調査期間

平成20年12月中に実施

## ○調査対象

むつ市民3,200人（平成4年4月2日以前生）  
地区別人口比を考慮し、無作為に抽出

## ○調査方法

郵送による配布・回収

# 《調査の概要》

## ○回収結果

●配布数

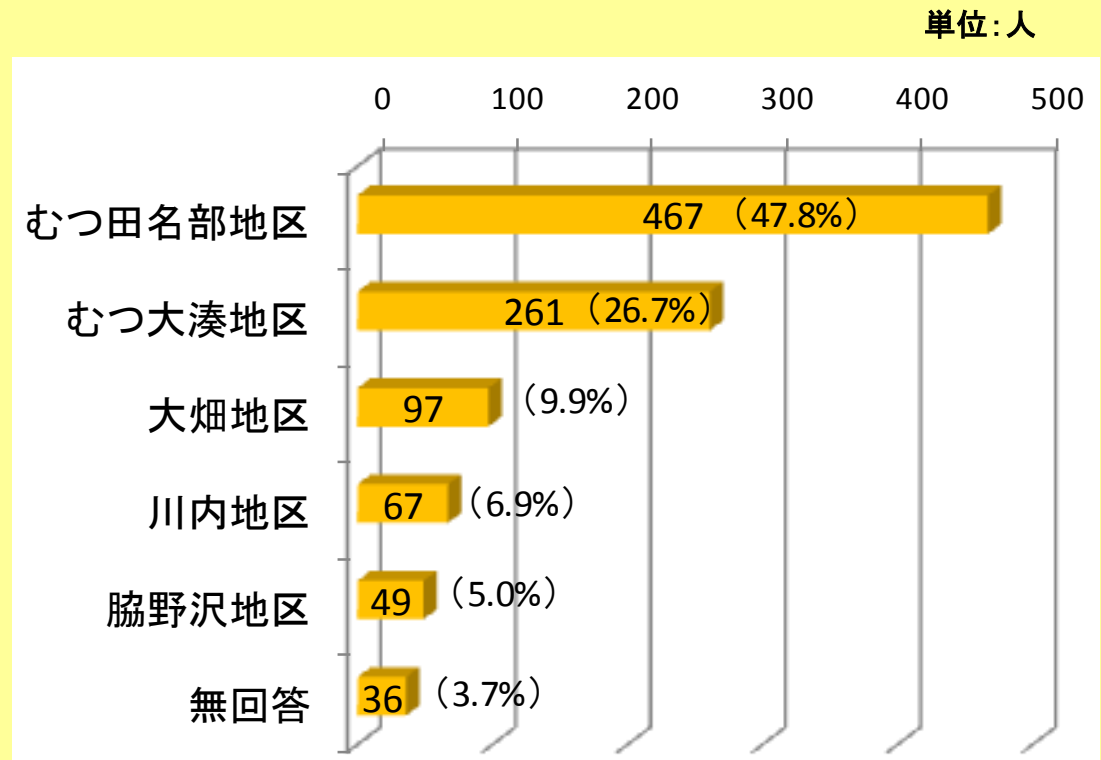
3,200票

●回収数

977票

●回収率

30.5%



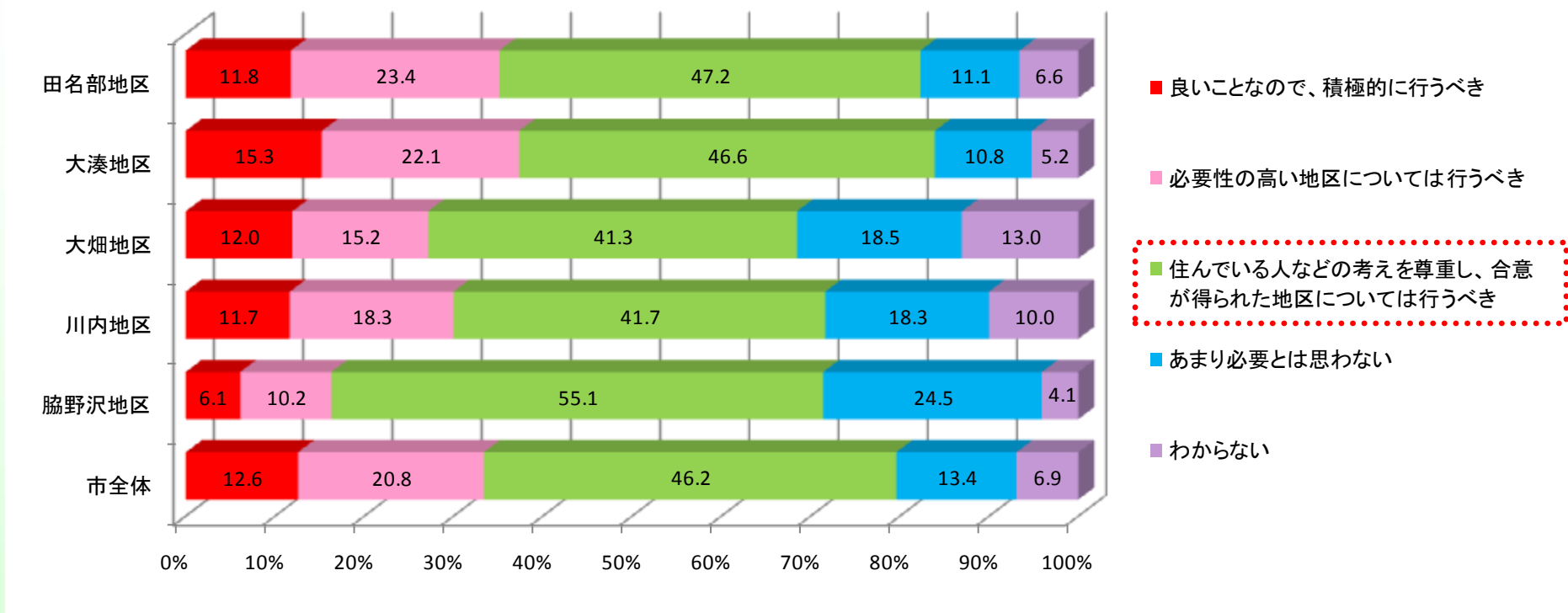
# 《調査の概要》

## ○設 問

- ①回答者の属性
- ②行動別の行き先
- ③まちづくりの状況
- ④残していきたい場所、整備・改善すべき場所
- ⑤建築に関する地域の決まり事
- ⑥将来のまちのイメージ
- ⑦むつ市の中で、各地区が担う役割
- ⑧今後のまちづくりの方向性
- ⑨その他(自由意見)

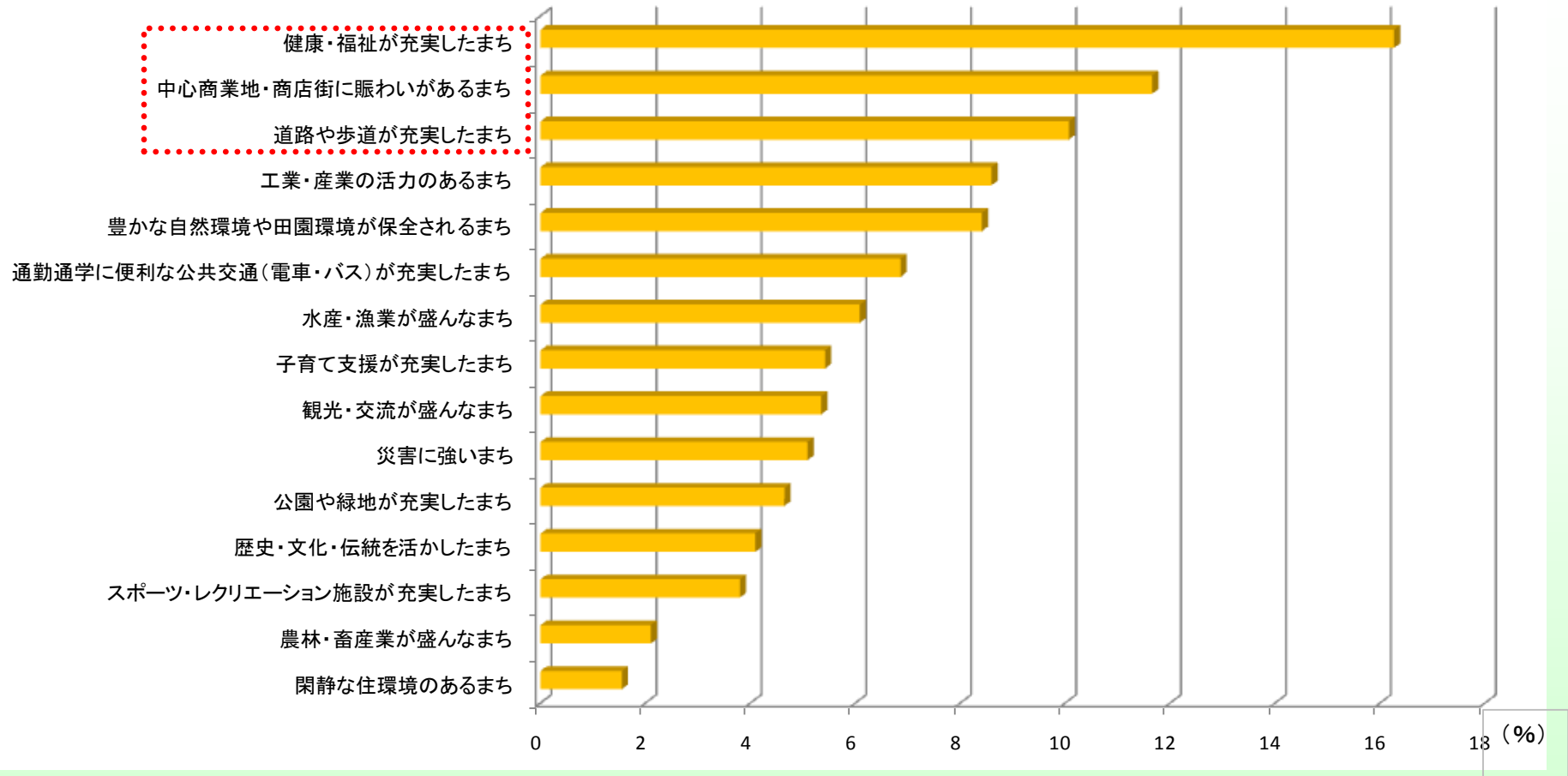


# 《調査結果》地域で決まりごとを作ってまちづくりを進めることについて



○「住んでいる人などの考えを尊重し、合意が得られた地区については行うべき」という意見が、最も多くなっています。

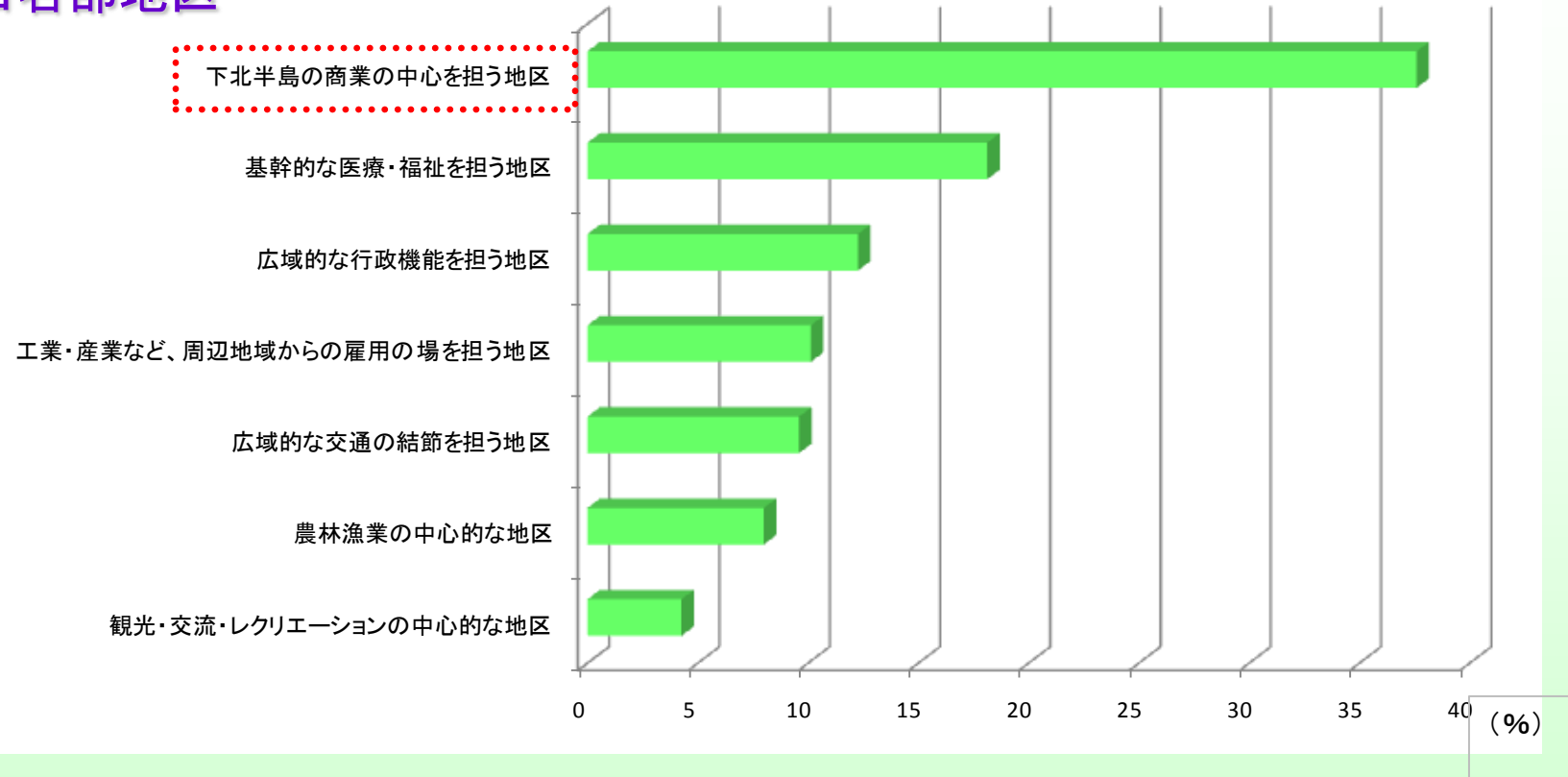
# 《調査結果》むつ市の将来イメージ



○「健康・福祉が充実したまち」、「中心商業地・商店街に賑わいのあるまち」、「道路や歩道が充実したまち」が多くなっています。

# 《調査結果》地区の担う役割

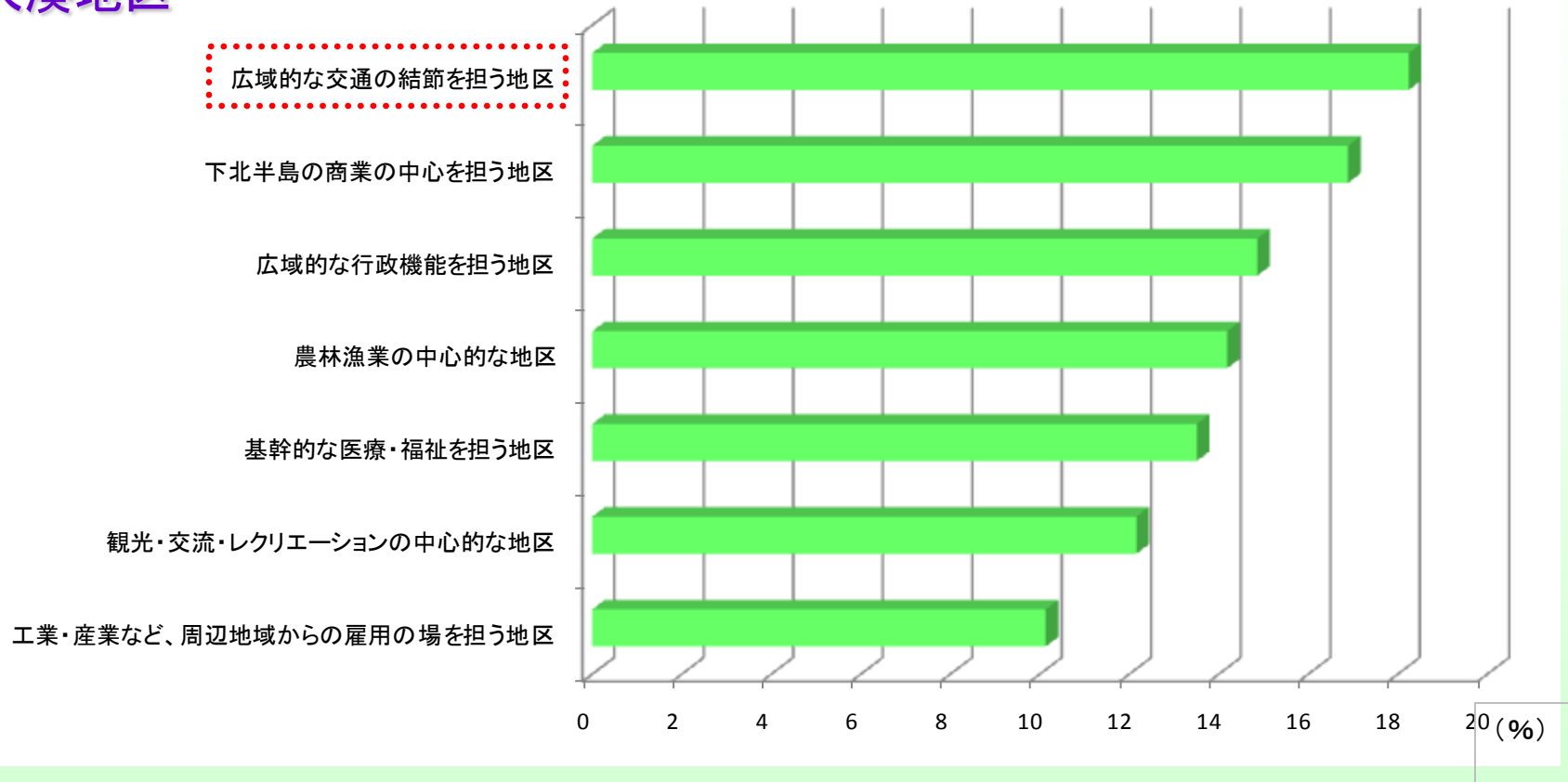
## 田名部地区



○「下北半島の商業の中心を担う地区」という意見が、最も多くなっています。

# 《調査結果》地区の担う役割

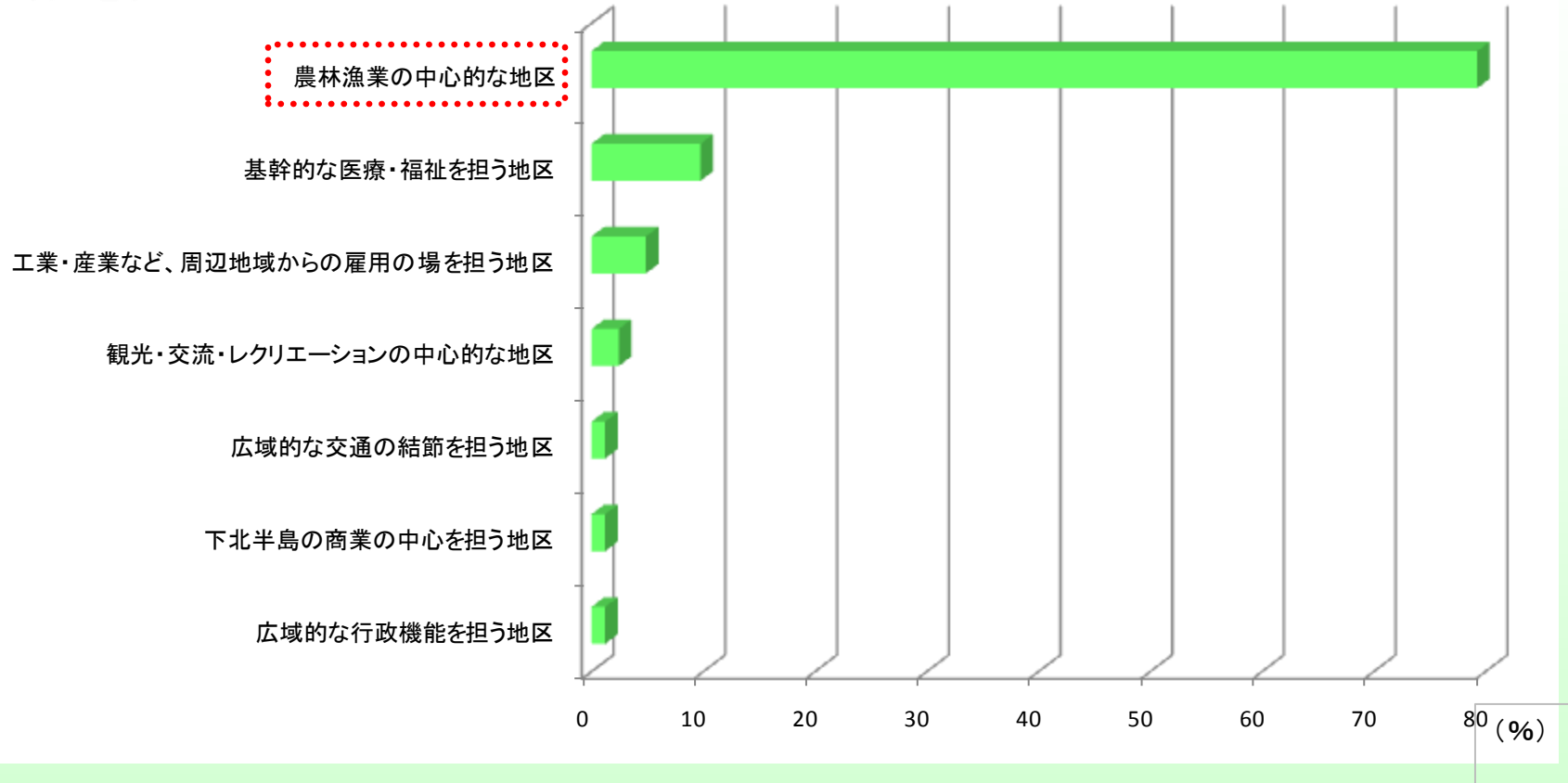
## 大湊地区



○「広域的な交通の結節を担う地区」という意見が、最も多くなっています。

# 《調査結果》地区の担う役割

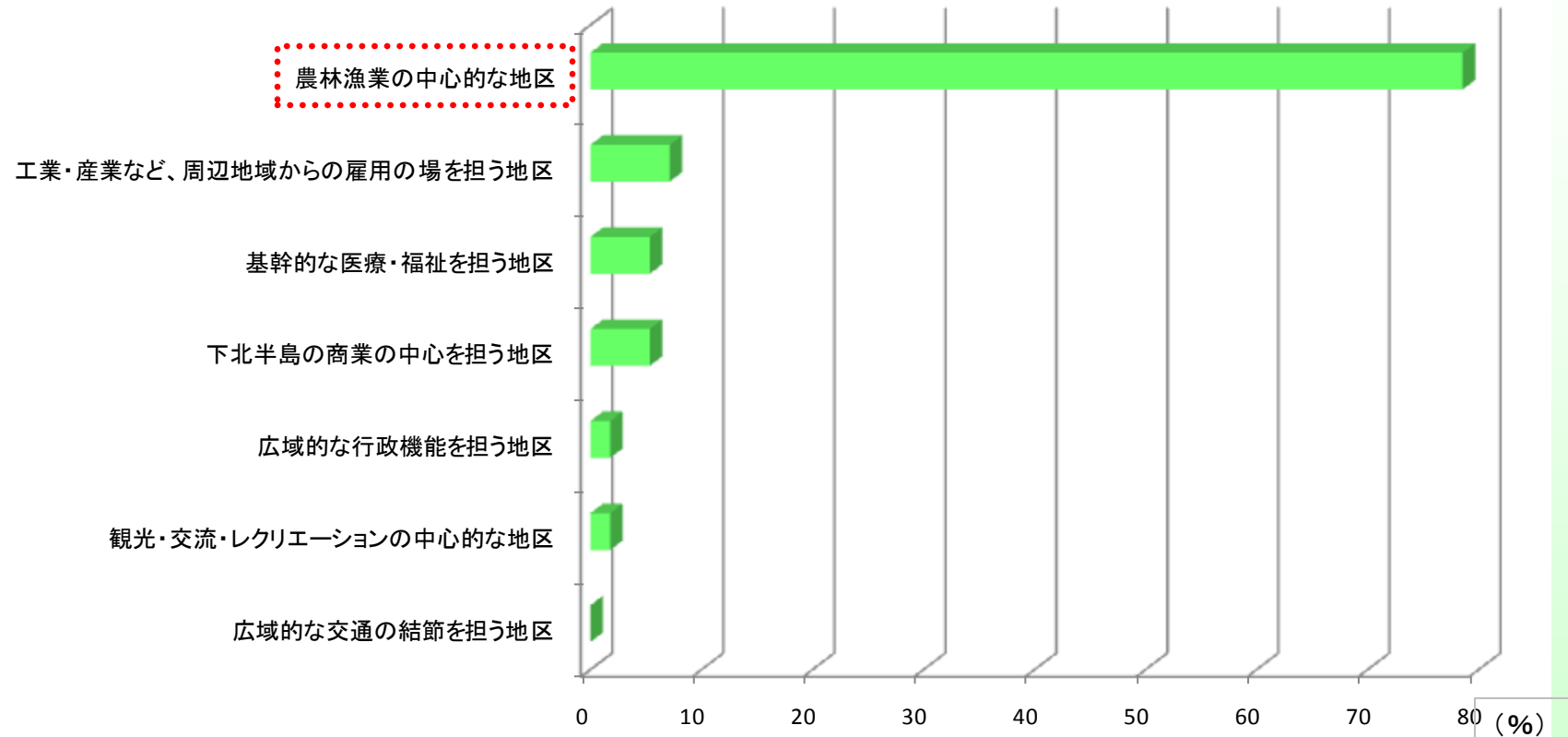
## 大畑地区



○「農林漁業の中心地区」という意見が、最も多くなっています。

# 《調査結果》地区の担う役割

## 川内地区

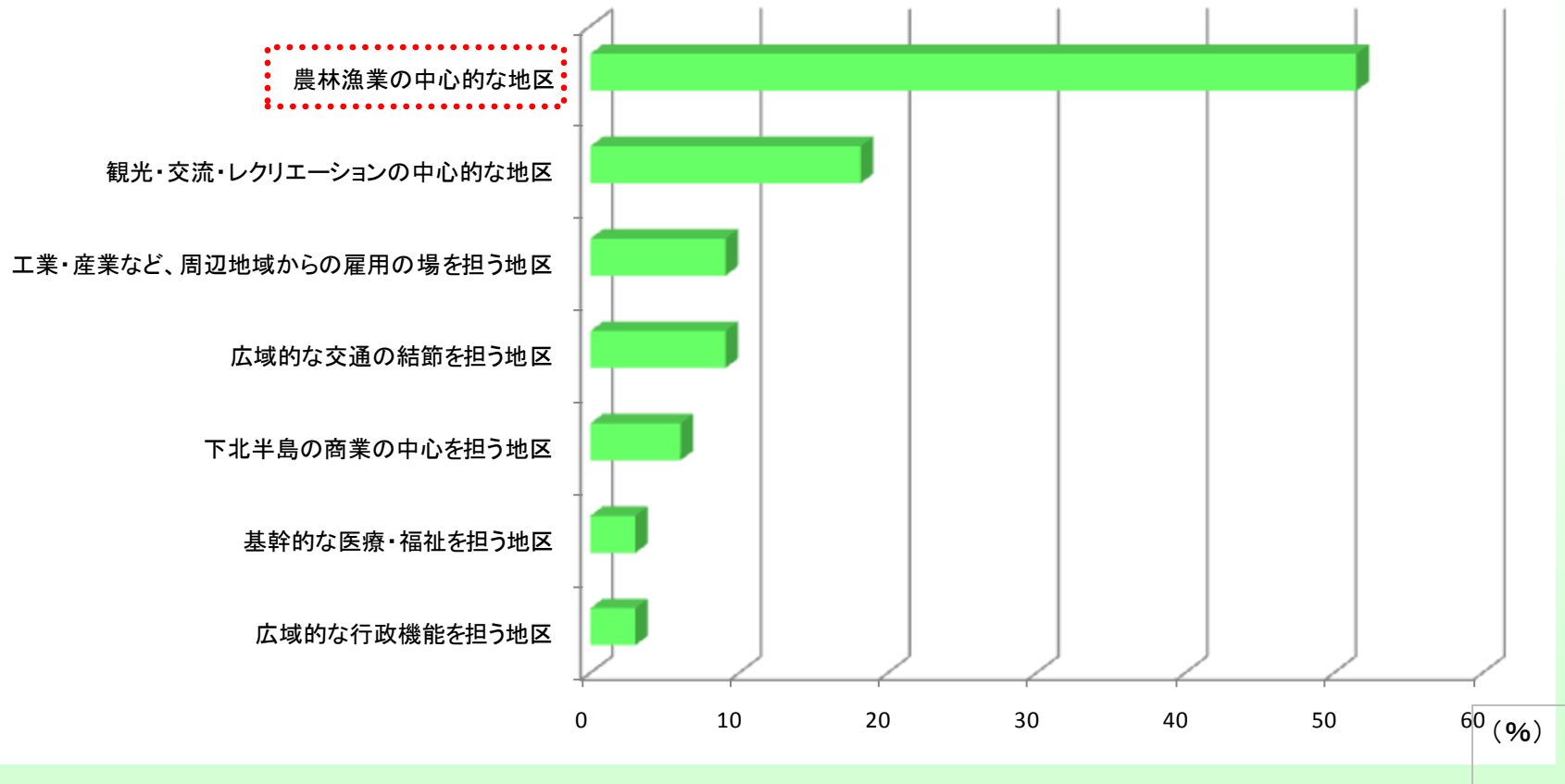


○「農林漁業の中心地区」という意見が、最も多くなっています。



# 《調査結果》地区の担う役割

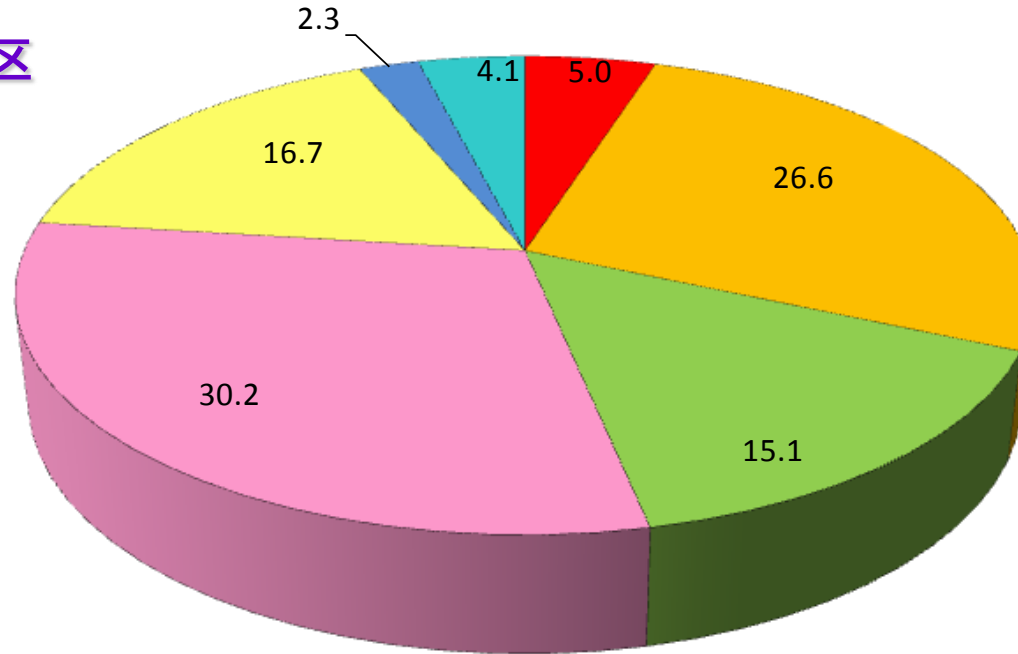
## 脇野沢地区



○「農林漁業の中心地区」という意見が、最も多くなっています。

# 《調査結果》今後のまちづくりの方向性

田名部地区



■ 環境保全のために開発を規制

■ 商業、工業用地、漁港、水産加工場用地の整備などの民間活力の誘導

■ 住宅地整備の民間活力の誘導

■ 合意が得られた地区については、住民が主体となって宅地や道路、公園、下水道などを整備

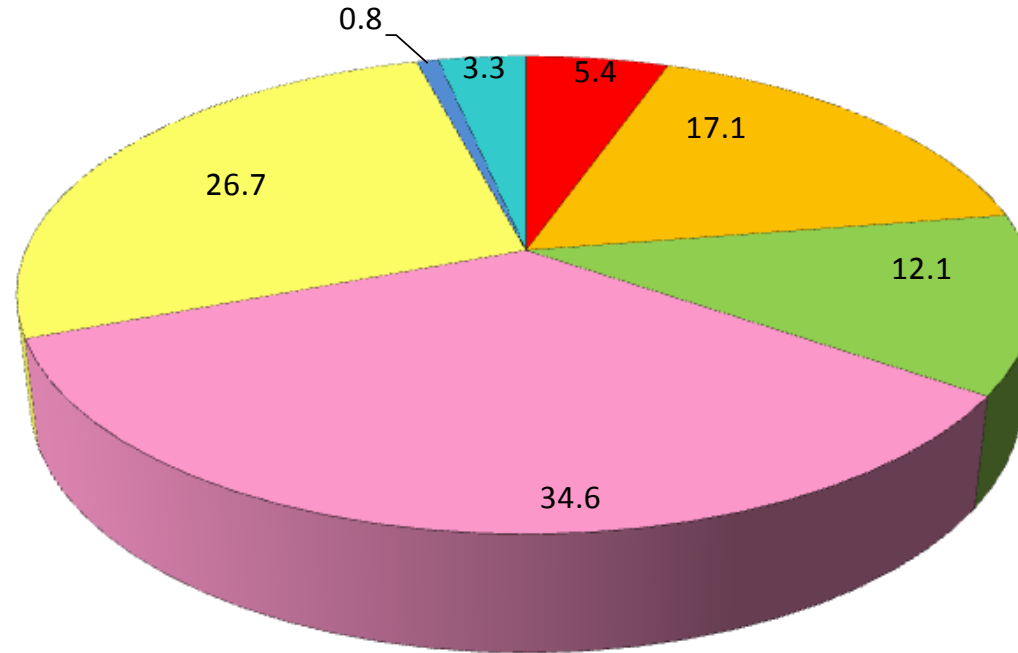
■ 必要な道路、公園、下水道などの施設の整備、改善

■ 既により基盤が整備されているので、新たな開発、整備の必要なし

■ 現状維持

# 《調査結果》今後のまちづくりの方向性

## 大湊地区



■ 環境保全のために開発を規制

■ 商業、工業用地、漁港、水産加工場用地の整備などの民間活力の誘導

■ 住宅地整備の民間活力の誘導

■ 合意が得られた地区については、住民が主体となって宅地や道路、公園、下水道などを整備

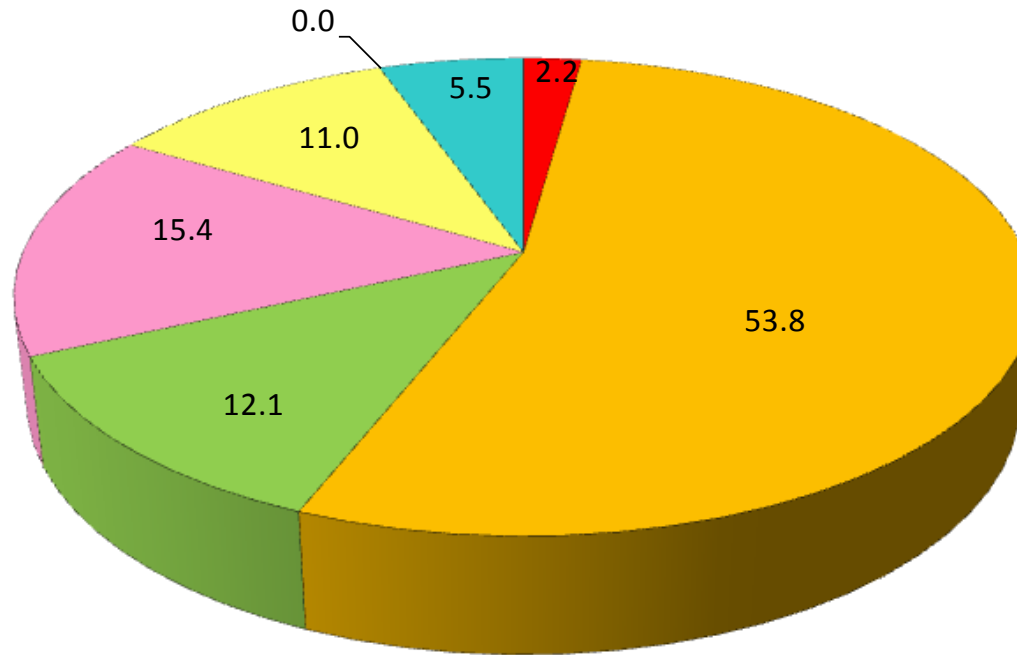
■ 必要な道路、公園、下水道などの施設の整備、改善

■ 既によりに基盤が整備されているので、新たな開発、整備の必要なし

■ 現状維持

# 《調査結果》今後のまちづくりの方向性

大畑地区



■ 環境保全のために開発を規制

■ 商業、工業用地、漁港、水産加工場用地の整備などの民間活力の誘導

■ 住宅地整備の民間活力の誘導

■ 合意が得られた地区については、住民が主体となって宅地や道路、公園、下水道などを整備

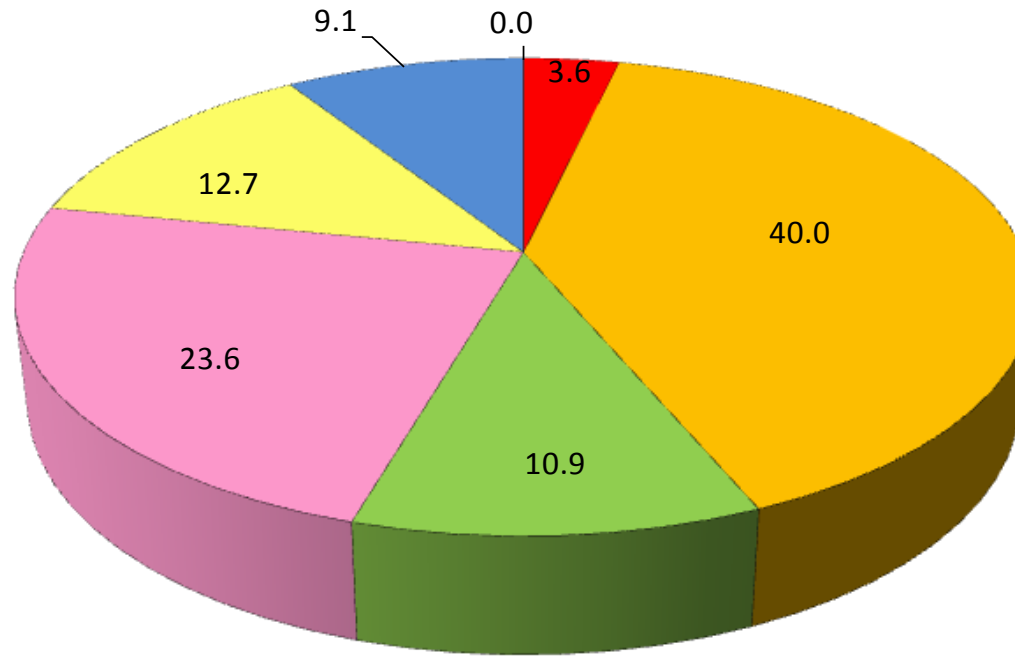
■ 必要な道路、公園、下水道などの施設の整備、改善

■ 既によりに基盤が整備されているので、新たな開発、整備の必要なし

■ 現状維持

# 《調査結果》今後のまちづくりの方向性

## 川内地区



■ 環境保全のために開発を規制

■ 商業、工業用地、漁港、水産加工場用地の整備などの民間活力の誘導

■ 住宅地整備の民間活力の誘導

■ 合意が得られた地区については、住民が主体となって宅地や道路、公園、下水道などを整備

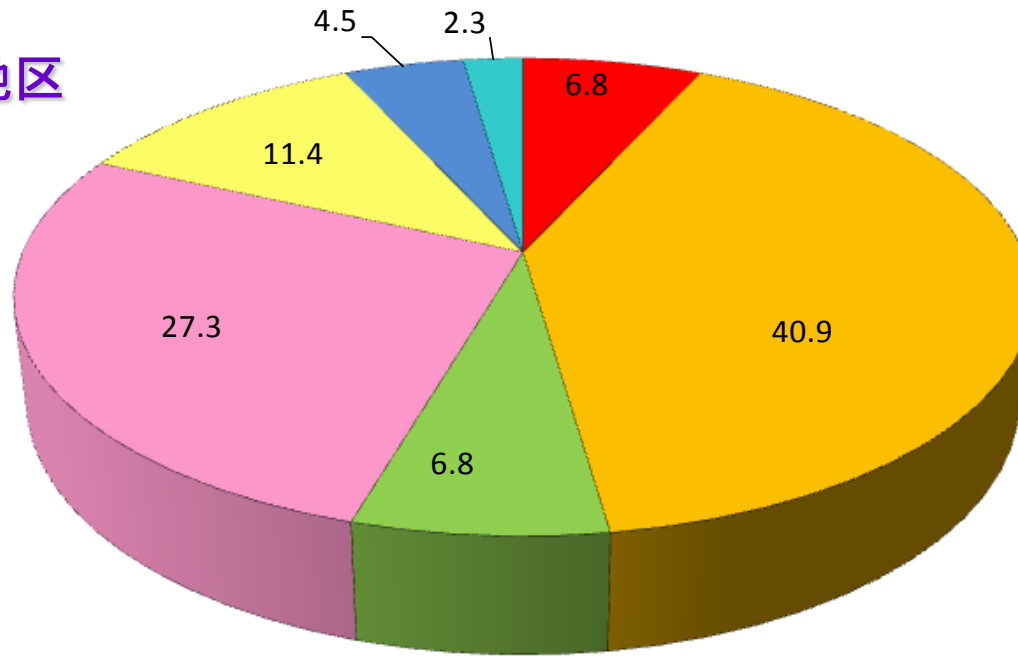
■ 必要な道路、公園、下水道などの施設の整備、改善

■ 既にも基盤が整備されているので、新たな開発、整備の必要なし

■ 現状維持

# 《調査結果》今後のまちづくりの方向性

脇野沢地区



■ 環境保全のために開発を規制

■ 商業、工業用地、漁港、水産加工場用地の整備などの民間活力の誘導

■ 住宅地整備の民間活力の誘導

■ 合意が得られた地区については、住民が主体となって宅地や道路、公園、下水道などを整備

■ 必要な道路、公園、下水道などの施設の整備、改善

■ 既になに基盤が整備されているので、新たな開発、整備の必要なし

■ 現状維持